

計画の名称	東洋町災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）												
交付対象	東洋町												
計画の目標	本町においては、発生予測が困難で甚大な被害が想定される「南海トラフ巨大地震」や、頻発する大型台風やゲリラ豪雨による風災害、日常生活において発生しうる火災や救急要請など、規模や頻度の異なる災害への対応が求められている。 本計画では、避難場所・避難経路・防災広場や防災まちづくり拠点施設を整備することにより、避難対策の充実、強化を進め、災害に強いまちづくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	525	A	447	B	0	C	78	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	14.85	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H29当初	中間目標値	最終目標値 H33末
1	津波・洪水等による浸水被害を軽減させる。 津波避難困難地域における避難対象者数の減少 津波避難困難地域における避難対象者数 / 全地域避難対象者数2,634名	64%	%	0%
2	防災機能強化の推進及び住民の防災意識向上を図り、安全に避難できる人口を増加させる。 津波災害において避難が可能となる避難所の収容人数の増加 避難所収容者数 / 全地域避難対象者数2,634名	10%	%	14%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---



C 効果促進事業

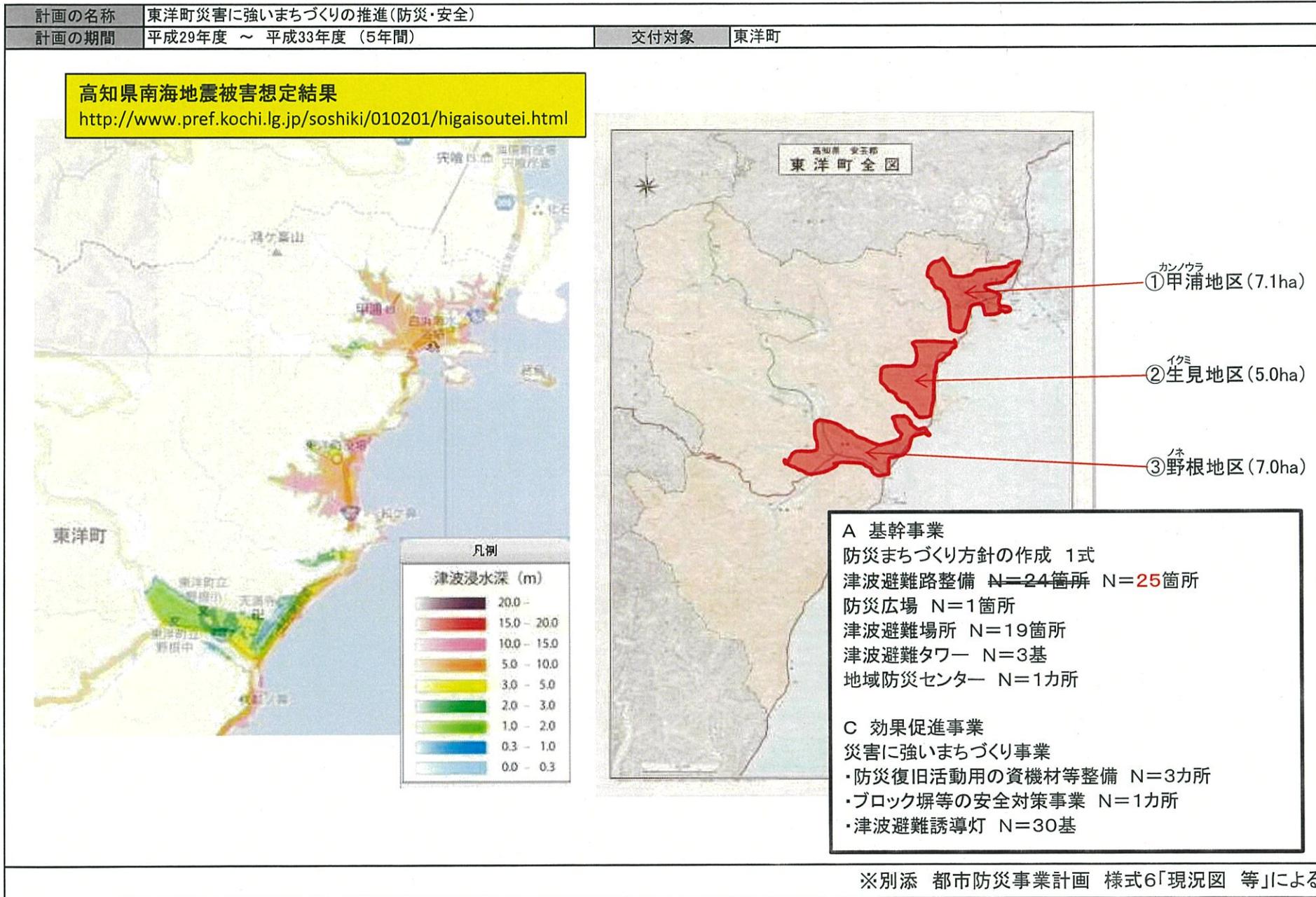
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 ！（延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	C13-001	施設整備	一般	東洋町	直接	東洋町	-	-	災害に強いまちづくり事業	防災復旧活動用の資機材等整備、ブロック塀等の安全対策事業事業、津波避難誘導灯N=30基	東洋町	■	■	■	■	■	78		-
A事業で整備した防災資機材備蓄倉庫等へ防災復旧活動用の資機材等を整備することにより、長期避難生活を可能とする。																			
											小計						78		
											合計						78		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31	R02	R03
配分額 (a)	52	10	0	0	0
計画別流用増△減額 (b)	△19	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	33	10	0	0	0
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	0
支払済額 (e)	33	10	0	0	0
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	0
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3)参考図面(防災・安全交付金)



※別添 都市防災事業計画 様式6「現況図 等」による

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 東洋町災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合性	
I. 目標の妥当性 1)基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1)地域の政策課題を踏まえて、整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 4)拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1)十分な事業効果が期待できる。	○
II. 計画の効果・効率性 2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性	

